

10月例会のおさそい

50周年記念例会

舞台「酸素」

昨年12月、国立科学博物館の講堂で初演され好評を博した舞台の再演が今月の例会です。

「酸素」を発見したのは誰？ レトロノーベル賞をめぐる時代を超えた激論バトル！

この戯曲を書き下ろしたのはアメリカの Carl Djerassi さんと Roald Hoffmann さん。Hoffmann さんは量子化学の専門家であり、1981年のノーベル化学賞を福井謙一さんと受賞されています。科学書はもちろんのこと、詩人としても2巻の詩集も出されています。

今回も、初演時と同様 Hoffmann さんから上演許可をいただき、演出・主演の燕山剛志さんの翻訳で小劇場での公演です。

日時 10月20日 (土) 16:00~17:30 (15:30開場)

21日 (日) 13:30~15:00 (13:00開場)

会場 東京西荻窪 遊空間がざびい

JR中央線・総武線 西荻窪駅北口 より北銀座通りを徒歩8分

観覧料 大人1000円 中学生以下500円

定員 各70名

助成 (公財)東京応化科学技術振興財団

科学の普及・啓もう助成

後援 杉並区教育委員会

協力 科博 SCA (国立科学博物館サイエンス
コミュニケーター・アソシエーション) 演劇分科会

申し込み・問い合わせ

舞台「酸素」企画委員会

Oxygen2018suginami@yahoo.co.jp

メールの件名には「酸素チケット」と明記し、お名前・ご希望日・人数(大人〇名、中学生以下〇名)をお送りください。折り返し受付番号をお送りしますので、当日プリントアウトするか携帯の画面に表示できるようにして受付にお持ちください。

受付開始 9月15日 (先着順、自由席)

★あらすじ★

ノーベル賞が制定される以前の科学的発見を表彰するために「レトロノーベル賞」が2001年に創設され、その第一号受賞者として「酸素の発見者」が選ばれることになる。酸素を発見したのは、ラボアジエなのか？それともシェーレ？プリーストリー…？3人の候補者の中で誰がふさわしいかを議論する現代のレトロノーベル賞選考委員会の様子と、18世紀の酸素発見当時の様子を交互に場面転換しながら、科学の歴史における「最初に発見すること」の重要性を明らかにしていく。科学界の偉人3人とその妻たちによる激論バトル！(このお話は史実に基づいたフィクションです)

★科博 SCA とは…国立科学博物館では、国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座において、人と人あるいは科学と社会をつなげる人材(サイエンスコミュニケーター)の実務家を養成している。対象は学生および社会人。受講生は科学に関するプレゼンテーション・イベント企画運営・執筆・司会など専門家と一般の人々をつなぐ手法を習得する。最終試験では国立科学博物館の一般来館者向けに科学イベントを実施し、修了者は国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーターとなる。

